

つくばピンクリボンフェスティバル2013が開催されました

乳腺甲状腺内分泌外科
病院総務部医事課

5月12日（日）に、つくばピンクリボンフェスティバル2013（主催：NPO法人つくばピンクリボンの会）が開催されました。このフェスティバルは、乳がん検診の啓発を目的に母の日のイベントとして、毎年開催され、今年で9回目を迎えることができました。筑波大学附属病院は、第1回目からこのフェスティバルを共催し、啓発活動に積極的に取り組んでいます。この日は、乳線甲状腺外科の原尚人教授ら多くの教職員が参加し、市民とともにつくば市内をランニングやウォーキングをしながら、乳がん検診受診を呼びかけました。閉会式では、名誉大会実行委員長の五十嵐徹也筑波大学附属病院長から、大切な人の笑顔を守るため、検診受診を習慣化することの大切さについてお話がありました。



市民とともにランニングをする原尚人教授（右）



閉会の挨拶をする五十嵐病院長